

歩随流水覓溪源

行到源頭卻惘然

始悟真源行不到

倚筇随处弄潺湲

良寛

歩して流水に随って溪源を覓む

行きて源頭に到れば卻って惘然たり

始めて悟る真源は行きて到らざること

筇に倚って随处に潺湲を弄す

谷川の水の流れをさかのぼってその源を尋ねていった。

源に到達したら思いもかけないことに源などという特別なものがあるわけではないことを知った。

私が杖をつきつつ歩くその一步一步に清水がわき出てくることを悟った。